



つながろう

CO-OP アクション情報

2012年7月25日

第 19 号

「夜のお茶っこ会」陸前高田で開催

男性多数参加で大盛況



「昼間には見かけない方もたくさんいらして、本当にうれしかったです」（いわて生協監事・被災地支援担当の飯塚郁子さん）

コープかながわは、6月30日、岩手県の陸前高田市にある2カ所の仮設住宅で、いわて生協の協力のもと、「夜のお茶っこ会」を同時開催しました。コープかながわの職員、組合員理事、活動企画委員の計14人に加え、コープとうきょうの職員2人もスタッフとして参加しました。



プレゼントされた草履を履いて、にっこり。

6月30日、「夜のお茶っこ会」の開始時間（18時）になると、続々と仮設住宅の居住者がやってきました。女性と子ども17人、男性8人の参加で、集会場はいっぱいです。

いわて生協では、震災後、継続して「お茶っこ会」を開催していますが、昼間開催であるため、仕事がある人や男性は参加しづらい環境ともいえます。そこで、男性も来やすいよう、お酒やおつまみなどを出し、夜に開催することになりました。

男性たちはお酒を飲みながら、被災

したときの様子や、今後の復興について話し合っていました。

コープかながわの組合員理事の齋藤好江さんは、「皆さんが、本音で語り合う様子が印象的でした。こうした場をつくるのがまずは大切だと感じました」と話します。

また、同生協の組合員理事である小石淑子さんは、布草履を居住者にプレゼント。被災された方の健康を願う気持ちや、布草履づくりを通じた地域活性化への期待が込められた贈り物となりました。